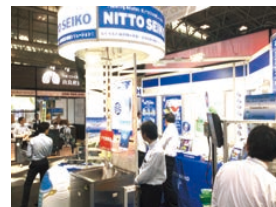


「機械要素技術展」で新技術を訴求。 マーケットに常に新しいものを提供する 日東精工の「挑戦」は絶えまなく続きます



4月19日から21日まで「ポートメッセなごや」にて「第1回名古屋機械要素技術展」が開催され、

当社からもファスナー、産機、制御システムの3事業部が共同出展。

発売前の製品を参考出展しプレゼンテーションするなど、これまでとは違う新しい試みも実施しました。

今号では展示会の模様と当社の新しい技術を紹介していきます。

「ものづくりワールド『機械要素技術展』」はこれまで東京で19回、大阪では18回開催されていますが、名古屋での開催は今回が初めて。初日の開会式、テープカットでは、河村たかし名古屋市長が「名古屋港での総貨物取扱量は、東京、大阪、横浜、神戸よりもはるかに大きく、13年連続で日本一を更新中。6兆円を超える貿易黒字で、日本経済に大いに貢献している!と、自動車分野をはじめ、ものづくり企業が多い中部エリアの潜在力を強くアピールし、この地で展示会が開催される意義を熱く語られました。

実際、展示会場は、初日から新しい技術や製品などにいち早く触れてみたいという技術者や営業の方々の熱気に包まれており、当社、



日東精工も、ファスナー、産機、制御システムの3事業部が共同出展。製品を個別に紹介するだけでなく、締結分野のトータルソリューションを強く訴求しました。

従来とは違う発想で生まれた新製品で とどまることを知らない技術力を証明

これまでの展示会同様に、自動車用途をはじめ軽量化やコストダウンなどに貢献できる当社の製品群(炭素繊維強化プラスチック用ねじ「CFタイト」や

新世代セルフタッピングねじ「タップタイト2000」と摩擦係数安定剤「フリックス」の組み合わせなどを系統立ててわかりやすく展示しましたが、今回の展示会では、当社初の試みとして、すでにリリースしているものだけでなく、発売前の製品も参考出展としてご紹介しました。

そのひとつが「首下の不完全ねじ部の影響をなくしたねじ」です。



これは、つば部の形に工夫をこらし、座金を挿入しなくても耐ゆるみ性能を向上させ、「ねじ空転」のリスクを低減、薄板締結の課題を一気に解決させトータルコスト削減(従来品比較で36%の削減)に貢献するものです。

日東精工では昨年12月に2種類の焼き入れて硬さを追求、鋼板へのセルフタッピングを可能とした新発想の「コアフレックス-I」をリリースしています。ねじはアルキメデスの時代までその歴史を遡ることができる、いわば成熟した「完成品」ですが、2000年以上経った今でも、それを常に尽きることなく進



「首下の不完全ねじ部の影響をなくしたねじ」と従来品を比較できるよう展示(左)。右は低トルク帯を追加したねじ締めドライバ「NX008T2」こちらも新製品。

化改良させることができることを、当社の技術力・新製品群が実証してきました。とくに「首下の不完全ねじ部の影響をなくしたねじ」については、まだ正式名が決まっていない段階ですが、この技術を開示することで、より多くの方の声を集約し、より完成度の高いものを目指しています。

「首下の不完全ねじ部の影響をなくしたねじ」については、まだ正式名が決まっていない段階ですが、この技術を開示することで、より多くの方の声を集約し、より完成度の高いものを目指しています。

衝撃のバラツキを抑える 小型軽量のねじ締めドライバ

さらに近日発売の新製品としてNXドライバ「NX008T2」も展示しました。一般には、ねじが製品に着座したときには衝撃トルクが発生しますが、その衝撃によってバラツキが出ないように、設定したトルクに近づけるには2段階を推奨しており、1段階目(仮締め)で高速・低トルク、2段階目(本締め)で低速・高トルクで締めていきます。

この「NX008T2」は、小型軽量でありながらねじ締め条件などを任意に設定可能とする「SD550Tシリーズ」のひとつであり、これまでになかった低

トルク帯(0.2~0.8N・m)を追加したものです。プリント基板へのコネクタ締め用途などにおすすめの新製品です。

どんなに優れたねじでも、それを締めるねじ締め機(ドライバを含む)がしっかりしていないとその長所を十分に活かすことができません。当社日東精工が工業用ねじの製造だけではなく、ねじ締め機や計測・検査機器などにおいても、リーディングカンパニーであることを、そしてファスナー、産機、制御システムの3事業がシームレスに連携する「締結・組立・計測検査のトータルソリューション」を具現化するものです。



他にも初の試みとして「プロトプロ」(金型不要で短納期、少量の試作品をお届けするシステム)も一般公開しました。試作品を提供する類似システムは他にもありますが、十字穴を正確に再現するなど精密な試作品を金型でなく再現できるものは他になく、ここでも「日東精工の技術の総合力」をプレゼンテーションすることができました。

当社ではこういった展示会での新しいニーズやご意見を真摯に受け止め、常にお客様満足度120%を目指してまいります。

展示会のおもてなしは「ねじっとくんネクタイ」で!



ポートメッセなごやで開催された「名古屋機械要素技術展」には、じつはファスナー、産機、制御システムの3事業部だけでなく、本社人事総務部からも応援が入り、全社あげてのプレゼンとなりました(営業や技術部門だけでなく管理部門の若手が社外展示会に参加。見る、知る、現場対応することも人財教育の一環として考えています。写真左は本社 人事総務部 岡原まどか)。

また展示会などでは通常お揃いのジャンパーやシャツなどを着用して、誰がスタッフであるかがすぐにわかるようにしますが、今回、当社では男性はキャラクター「ねじっとくん」を中央にワンポイントであしらったお揃いのブルーのネクタイで対応、金属・機械という硬い製品を扱う会社ですが、柔軟な対応で好評を博しました。



※左 一般公募でニックネームを募集、「ねじっとくん」と命名された当社のキャラクター。右、ねじっとくんネクタイを締めるファスナー事業部名古屋販売課 販売係長 梅垣輝章

「きょうと健康づくり実践企業認証制度」実践企業として認定されました

京都府は「きょうと健康づくり実践企業認証制度」を創設。これは、健康診断やガン検診受診率の向上、あるいは禁煙分煙対策など、従業員の健康づくりに関して積極的に取り組む企業を応援するものです。



当社日東精工は平成26年度【優秀賞】を受賞するなど、この制度の実践企業として毎年認定され、平成28年度についても認定を受けました。

当社では例年、市民駅伝やモデルフォレストなどの地域貢献につながる活動に積極的に参加。昨年度は24年ぶりにファミリー運動会を復活開催し、従業員と家族の健康づくり・コミュニケーションを図りました。今後も「明るく・楽しく・元氣よく」健康づくりを継続していきます。

綾部工業研修所「記念誌」を京都新聞が紹介

綾部工業研修所50周年を記念して編集された「記念誌」が4月22日の京都新聞で大きく取り上げられました。



綾部工業研修所は、地元、綾部市の技術者の底上げのために当社、日東精工の呼びかけで生まれたもので、その取り組みの歴史を丁寧に紹介いただきました。

また同じ京都新聞の5月4日紙面では、「アイデア・形になる喜び」と題して、産機事業部、四方常之が人物紹介されています。

これからもテレビの教育番組で「ねじ」が取り上げられるなど、いろいろなメディアで当社の製品や事業、人財教育などが紹介される予定です。

<http://www.nittoseiko.co.jp/media.html>

日東協力会60周年。地域創生にこれからも貢献します

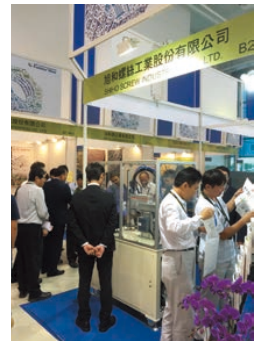
「日東協力会」が本年創立60年を迎え、5月13日(金)に記念式典がとり行われました。「日東協力会」はいわゆる連結企業、グループ企業とは違い、当社日東精工と取引のある21社(本社のある綾部市およびその近郊)で組織化された「協同組合」です。

協力会内で情報を交換し原材料などの仕入れを協同購入することなどで、コスト削減やフレキシブルな対応を可能としています。昨年2015年には綾部市から地元へ貢献した企業や組織を顕彰する「永井賞」を受賞するなど、地域経済の活性化に貢献しています。



台湾国際ファスニング見本市に出展 グローバル化を着実に進めています

4月11日から13日まで開かれた「台湾国際ファスニング見本市」へ現地法人「旭和螺絲工業股份有限公司(SHI-HO)」が出展しました。当社日東精工グループは日本国内の展示会だけでなく、東南アジアを中心に海外での展示会にもファスナー、産機、制御システムの3事業共同で積極的に参画。グローバル化を推進しています。



第1四半期・個人投資家向け決算説明会開催

5月12日(木)に2016年12月期(第111期)、第1四半期決算を発表。5月20日(金)に個人投資家を対象に京都府福知山市のサンプラザ万助において決算説明会を開催しました。「四半期報告書」や「決算短信」については当社ホームページに掲載しています。

<http://www.nittoseiko.co.jp/ir.html>

信頼のレベルを深めていこう ～個人的信頼から専門的、構造的信頼へ～

「信頼」には「個人的信頼」「専門的信頼」「構造的信頼」の3つのレベルがあります。

「個人的信頼」は人柄に基づく一般的な信頼です。チームの場合なら、秘密を洩らさない、アイデアを盗用しないなど、安心して仕事を分担できる関係です。不可能と思われる納期に追われたり、緊急事態が起こるといった試練に遭ったりすると、信頼できる人とならない人が判断できますね。正直で高い倫理観があって、約束を守る。機密の扱いが丁寧である。わからないことをハッキリ言い、あ

いまいにせず調べて確かかなことを回答する、こんな人が「個人的信頼」に値する人でしょう。

しかし、これだけでは必要条件であり十分条件を満たしてはいません。次に求められるのが「専門的信頼」です。たとえば高度な医療手術を受けたり、飛行機に乗ったりするのは、相手に「専門的信

頼」を寄せているからでしょう。

専門の最新の知識を有し、自分の見解に確かな裏付けがある。なすべきことに全力投球する、好き嫌いで判断しない、これが「専門的信頼」を有する人。

そして、さらに進んだ「構造的信頼」を寄せるに値するのは、個人的な目的や利害に判断が鈍ることがないと断言できる。完全にリーダーの見方、あるいは味方になりうる立場にいる。情報を勝手に取捨選択したり、ゆがめたりしない……こんな人です。

「個人的信頼」を得ることからスタートし、「いい人」のレベルで満足するのではなく、お得意先からより深いレベルでの信頼を得よう、研鑽していきましょう。

(経営コンサルタント・蒲田春樹)



「人生の「ねじ」を巻く77の教え」(ポプラ社)は当社オリジナル教則本を一般向けに再編集したものの書籍に掲載していないものや重複しても更新していくべきものなどを随時ここでご紹介していきます。



宇治茶のルーツは綾部??

ねじのある街・あやべの魅力

ペットボトルで飲めるお茶の有名ブランドのひとつがコーラの「綾鷹」。茶葉を提供しているのは上林春松本店です。

上林家は足利義満や信長、秀吉などから庇護された宇治の茶師名家ですが、じつはこの上林家のルーツは丹波上林郷(日東精工本社のある綾部市)の豪族。室町時代に初代・春松の父、久重が宇治に移り住んで茶業に携

わるようになったのです。だから、「綾鷹」の「綾」はひよっとして綾部の「綾」かと期待しましたが、上質で貴重な茶葉を

「鷹」と呼び、それを織りなす「綾」ということのでつけられた名前だそう。

それでも、現在も、綾部は宇治茶の生産(供給)地のひとつであり「綾部茶」ブランドとしても農林水産省の品評会で表彰を受けています。朝霧に包まれる丹波特有の茶作りに最適な気候風土で生まれる綾部茶。まろやかな味、鮮やかな色合い、そして豊かな香りが特徴です。新茶のおいしい季節、ぜひお試しを。



©一般社団法人綾部観光協会

ねじ大好き! コラム

名前に「ねじ」の名がつく植物があるのを御存じですか? その名もズバリ、「ネジバナ」です。らせん状に可憐な花が咲く、ラン科の植物で、花の季節はまさに今、6月の中旬から7月にかけてです。別名を「もぢずり」ともいい、この「もぢずり」という言葉は百人一首にも詠まれています。ここでの「もぢずり」が「ネジバナ」であるかどうかは諸説ありますが、ネジバナが古(いにしえ)の時代から観賞されていたことは確かなよう。

稀少種ではなく、全国津々浦々に分布、自生しているので、植物園などのほか、原っぱ、公園などで出合うことは難しくありません。ただ、「ねじ」がふだんあまり意識されないけれど大切なもののように、ネジバナも身近過ぎて、つい見落としがちかもしれませんが、きれいな花です!

